

第2回シンポジウム・ワークショップ 報告

11月22日、東京の立教大学池袋キャンパスにおいて、第2回シンポジウム・ワークショップを開催いたしました。

会員の皆様には、会報の発送が遅れまして大変ご迷惑をおかけいたしました。当日は次のような内容で実施しましたが、参加していただいたかたがに大変好評でした。

シンポジウム 「ものづくりの楽しみと挑戦心」

コーディネーター 筑波大学教授 谷川 彰英

パネラー 植田 昇さん 豊店経営

小川 誠さん 畑などの農業体験を重視した「五色塾」主催

高橋 博文さん イタリアンレストラン「ラ・トラナス」オーナーシェフ

田村 知之さん タムラ精工経営

このように、多方面で情熱を持ってものづくりに取り組んでいらっしゃる方々をパネラーにお迎えし、それぞれに、そのお考えをお話していただきました。



～参加者の感想～

- * その道のプロの話はすごいなと思いました。本物の人たちに来ていただき、話をお聞きすることが出来ました。また、その場での谷川先生のコーディネート、嶋野先生のコメントも楽しく、やる気が出ました。
- * 教師でない人からのお話が新鮮でした。物を作る中から見えてくることや考えていることが、教育について考える時の違った視点を与えられるように思います。

- * プロの職人から、私たちが日ごろ忘れてしまっていたプロ意識を教えてくださいました。一人一人の方が、自分の仕事に対して自覚と責任をもっていました。私たち教師も、もう一度原点に立ち返っていかなくてはいけないなと感じました。
- * 最後のコーディネーター谷川先生のまとめに、あるプロデューサーから聞いたこととしてお話しいただいたことが心に残りました。「どんな職業でもプロになれ。プロとは、ひがみ・ねたみ・そねみを持たないものだ。」「プロというのは、自分の道を自信を持って歩いている人。そういう人は、ひがみ、そねみはない。そんなことをやっている暇はない。私は、ものを作る人に敬意をもっている。」

講演「やる気と元気が出る学校教育」

講師 お茶の水女子大学教授 無藤 隆

現在の様々な課題を的確に見つめて、これからの3年間くらいをどこに焦点を当てるか考える。

個々の先生の力量アップも大事であるが、もっと大事なのは学校単位の力量アップである。



[現在の課題について]

教科教育の問題

算数・数学を中心とした諸学力の習熟をしっかりとし、その上に教科の理解を発展させていくことが課題であろう。

総合的学習

総合的な学習と教科をどうつなげるかが来年度の課題だと思う。

個に応じた指導

1クラスの人数を減らせばよいという問題ではない。一人一人の評価が重要であり、そのためにいわゆる絶対評価を導入した。これはなかなかうまくいっていない。

幼・小・中連携

小・中の義務教育9年間をどう組替えるか、幼稚園を含めて12年間をどう組替えるかという問題。

これら多くの課題を整理し優先順位をつけて、やれることをやっていくことが、地道だけれど学校に元気をつける方法だと思う。今後、学校単位の裁量権が増える。各学校でこれらの課題を整理することが求められる。

[学校単位の改革～学校力という]

「学校力の基本」とは

授業研究

指導者が重要であり、学校単位の指導者は、校長・教頭である。

授業研究を可能にするような校務分掌や業務のあり方の改善
教頭先生が忙しすぎる。

日々の授業改善

課題・目標・計画が重要である。3年計画がめやすとなる。

外部評価

- ・ 外部からの専門家の立ち入り等により多面的に質的に評価する。
- ・ 3年間中の改善を評価する。

[つけたしたいこと]

土曜日休みの意義を考える

家庭・地域にいる時間を保障すべきである。

総合的な学習の時間での、英語活動とコンピュータについて

- ・ コンピュータを使う力をつけるには、一人一人にノートパソコンをたせ、学校に無線ランが出来るようにすれば良い。
- ・ 英語力は重要である。発音付き電子辞書を持たせる・教科書はCD-ROMあるいはテープにする・入試問題集にテープをつけて常に発音を聞かせる。これらが、英語力をつけるために必要である。

~参加者の感想~

- * 最後にお話された英語をいかに身につけさせるかについて、非常に興味深く聞かせていただきました。音声付電子辞書・CD付き教科書など、今後役立つお話を聞き、「これ、いただき！」と思いました。
- * 学校単位での力量アップということが印象的でした。校長・教頭への期待もありますが、自分たち一人一人が「学校」全体を意識して仲間と協力して学校の力量アップを目指さなければと思いました。

ワークショップ~ 8つのコーナーを設けました。



リサイクル手織りを楽しもう
手織インストラクター 高田 敦子先生



木ぎれを生かす - 木の香りと温もりを感じながら -
杉並区立八成小学校 中村 美和子先生



想像力・表現力を豊かにする手話
小田原市立早川小学校 江原 恵子先生



「遊び」のなかの「学び」
～「ものづくり」活動のなかの「学び」～
上越教育大学 木村 吉彦先生



総合的な学習の指導計画と評価計画の立て方
玉川大学 北村 文夫先生



生活科・総合的な学習の評価アラカルト - 子どもの「学び」の見取りとその手だて -
相模原市生活科・総合的な学習研究会の先生方



「考えごとの玉」をつなげよう、つたえよう
八郷町立園部小学校 飯田 三枝先生



総合的学習における話し合い活動の工夫
千葉大学 戸田 善治先生

～参加者の感想～

- * 参加して、手元に作品ができあがるというのは、やっぱり楽しい時間でした。
- * 子どもの見取りには、一元的な見取りではなく、トータルに見ていかなくてはいけないことを教えていただきました。幼稚園での実践には学ぶことがたくさんありました。
- * 発表者と聞き手の関係の大切さを教えていただきました、発表者が話したいことを話しているだけだと聞き手は何のために聞いているのかわからなくなってしまうことを実感し、今後の授業に大いに役立つと思いました。
- * 裂き織りは以前、地域作業所で見ることがあり興味がありました。先生の熱心で温かい人柄に触れることが出来ました。